

平成28年度 第4回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会
発達支援部会会議録

日 時 平成28年12月20日（火）午後4時30分から午後5時00分

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出席者 菅谷幸乃部会長、平沢真哉副部会長、
土屋知子部会員、星山伸夫部会員
松村幸江部会員、須鎌ひろみ部会員
福田弘子部会員
野中幹子（鎌ヶ谷市学校教育課副主幹）
林恵利部会員（鎌ヶ谷市健康増進課主任保健師）
佐藤佳子部会員（鎌ヶ谷市こども発達センター分室主幹）

欠席者 岩田友理子部会員（鎌ヶ谷市障がい福祉課主任保健師）

事務局 （障がい福祉課） 齊藤実障がい福祉課長、藤嶋晶子課長補佐、中村浩主任主事
（もくせい園） 三浦幸嗣

公開・非公開の区分 公開

傍聴者 0名

添付資料

- ・式次第
- ・サポートファイル説明書レイアウト案
「書いて、伝えて、共有して、みんなでつなぐサポートファイル」

<本日の傍聴人及び会議の出席状況について>

事務局より、欠席者について、出席者数が会議開催の定足数である過半数を満たしていること及び傍聴者が0名であることを報告した。

1. 議題

「サポートファイルをより理解して活用してもらうための具体案の検討」

部会長

前はサポートファイルの取り扱い説明書のようなものを作成しようということで検討を行い、イラストのイメージや、その配置について、さまざまなご提案をいただいた。今回は、前回の意見を基に事務局でレイアウト案を作成したので、これを基に検討を行っていきたい。レイアウト案について事務局から説明願いたい。

事務局

前回の会議において、各支援機関が情報を共有して支援を行うというイメージを円形で表現するのが良いとの意見があったので、対象となる子どもとその家族を中心に各支援機関を配置し、サポートファイルによる情報共有や連携を円形で表し各支援機関間をつなぐ形とした（以下、この部分を「円部分」と表す）。そして、そこから下方向に矢印をのびし、各ライフステージもつないでいくということ表現している（以下、この部分を「ライフステージ部分」と表す）。また、記入例もあった方が良くという意見があったので、こども発達センターから記入例をいただき、その中から一枚を抜粋して裏面に掲載した。

(1) 「通所施設」の部分について

部会員

子どもたちは学校や家庭にいただけではなく、それ以外に日中過ごす場がある。他市のサポートファイルでは日中活動の場という言葉を使っているが、それが（「円部分」の）どこに入るのか。

部会員

（「円部分」の）「通所施設」の中には、保育園や幼稚園の他に、児童発達支援や放課後等デイサービス等の日中活動の場が入っていると思うが、「通所施設」にまとめてしまうと、それが分かりづらくなってしまう。括弧書きで個々の名称を入れた方が良くと思う。

部会員

「通所施設」というのは保護者には抵抗があるのではないかと。放課後等デイサービス、児童発達支援という名称の方が周知されてきているので、そちらの名称にしても良いのではないかと。

部会員

「通所施設」というのは、就学前後の包括的なイメージなのだろうから、いっそ「日中活動の場」として括弧書きで例を挙げれば良いのではないかと。

部会員

保育園や幼稚園などを日中活動の場としてひとつにまとめると、具体的なイメー

ジがつかなくなると思う。放課後等デイサービスや児童発達支援は「通所施設」に括るとしても、保育園・幼稚園はイラストを別にて配置した方がいいと思う。そうすることで、保護者にいろいろな所でアドバイスがもらえる、というイメージを持ってもらえるのではないか。

部会員

今回の取扱説明書の狙いは、いろいろな機関が連携していくことを端的に絵で表すことだと思うので、あまり欲張りすぎて情報を盛り込み過ぎない方が良いと思う。

(2) 「教育機関」の部分について

部会員

(「円部分」の)「教育機関」という表現も少し堅いので小学校、中学校、高校とした方がよいのではないか。ただ、情報量が多くなってしまうとレイアウトが煩雑になってしまうので、バランスを考える必要もある。

(3) 「相談支援事業所」の部分について

部会員

(「円部分」に)「相談支援事業所」が独立して載っているが、これは独立して載せた方がよいのか。

事務局

サービスを使うにあたっては、相談支援事業所が中心になって動いているので別にした。

部会員

現在のところ相談支援事業所は完全に機能しているわけではない。相談支援事業所が機能し始めた時に、独立して載せればよいのではないか。

部会員

いろいろな考え方があるが、相談支援事業所の今後の方向性を考えた時に保護者に周知するためにも、独立して載せるというのは一つの案だと思う。

(4) 「就労」という記載について

部会員

(「ライフステージ部分」について) 保護者からすると、ライフステージの最後に「大学・就労」とあるととても重く感じてしまう。ここに、日中活動の場とか福祉事業所といった表現も入れてほしい。

部会員

(「ライフステージ部分」の)「大学・就労」を削ってしまってもどうか。

部会員

大学や専門学校へ行く人も増えているので、たとえば「進学先・就労」などとして残した方が良い。

部会員

(「円部分」の)「就労施設」についても、一般就労だけでなく、福祉的就労という場合もある。それも、記載した方がよいのではないか。

事務局

「就労施設」という表記を単に就労として、括弧書きで就労支援事業所、企業と

いった表記を追加するなど考えたい。

(5) 「裏面記入例」について

部会員

何を書いたらいいのかわからないこともあるので、裏面の記入例はとても良いと思う。

部会員

記入例に、第三者から受けた指摘が書いてあれば、なお良いと思う。

部会員

就職活動のためプロフィールシートを作ってもらった際に、学校時代に先生に注意されたことや褒められたこと、友達から言われたことなど印象的なエピソードがあったら書いてくださいと言ったら、いろいろなエピソードが出てきた。エピソードを書くときに第三者からの視点も重要だと思う。

部会員

サポートファイルに第三者が記入する欄はないし、それを入れてしまうと記入のハードルが高くなる。もらったアドバイスを保護者が記入するという例を示すのは良いと思う。

(6) レイアウト全般について

部会員

(「円部分」の) 上の説明文書中に、「お医者さん、学校の先生など」との記載があるが、医療機関の前に学校をもってきた方が良いのではないか。医療は、その子どもたちを日中みている機関のサポート的な存在だと思う。円部分のイラストの順番も考えてはどうか。

部会員

円で表現しているので、右半分を福祉サービス、左半分を成長期に関わる機関として分けて記載してみるのも分かりやすいかもしれない。

部会員

円を左右に分けて表現するという意見があったが、医療機関や行政等支えていく機関を下に持ってきて、福祉サービスなどの機関を上配置して、上下に分けることもできるのではないか。

部会員

レイアウト案では、「円部分」から下に矢印が伸び、「ライフステージ部分」につながっているが、「ライフステージ部分」を「円部分」の上に配置して、「円部分」から上に矢印が向くようにしたほうが、上に向かって成長していくイメージで良いと思う。

(7) まとめ

事務局

今日いただいた意見を参考に正副部会長と事務局で協議して修正案を作成したい。

部会長

次回は、事務局で作成する修正案を基に協議いただき完成を目指したい。本日は

これで終了とします。

事務局

次回は、平成29年2月14日（火）午後4時30分からになります。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成29年2月3日

氏名 菅谷 幸乃

氏名 平沢 真哉